森林と人をつなげたい
通信 森倶楽部21

2018年6月　第195号

私たちは、里山の自然に触れ、その地域の暮らしに学ぶ活動をしています。
長野県安曇野市の長峰山が主な活動場所です。
里山はたくさんの生きもののよりどころです。
たくさんの人と、この豊かな自然を分かち合い、未来に引き継いでいくことが願いです！

活動地の樹木札について

蝶の森から絆の森にかけて遊歩道沿いにいくつかの案内看板や樹木札が立っている。この名札は森倶楽部２１の手作りで、毎年春先に活動地の見回りをし

て名札や杭のメンテナンスを行い、名札の必要な樹木はないかなど調査している。樹木札を最初に作製したのは 2005 年１月だから、かれこれ 13 年間維持管理を行っている。そして少しずつ機械も新しくなり、それとともに技術も向上し、より良い樹木札がお目見えしている。

朝日村のクラフト体験館で最初に作製した 2005 年１月 16 日の前年の９月 26 日～12 月 19 日にかけて当時の明科町が烏帽子峰の施業を行うことになり、主に西側部分のアカマツ、サクラ、クリなどの伐採は山仕事創造舎が、遊歩道と水平道造りとその周辺の整備を森倶楽部２１が担当した。その時に間伐したサクラ、ハリギリなどを製材して樹木札を作ったらどうかという提案が、賛助会員の白石さんからあり、施業最終日にはサンプルを示された。それを見ながら杭打ちして横書き黒字の木札を固定する方式を基本とすることに決定。樹木札を何枚作製したのか詳しい記録は残っていないが、案内看板は３箇所に設置とあるので、烏帽子峰山頂と水平道西入口と光城山と馬車道の合流点に設置したものと思われる。樹木札作製や設置を行った日の記録には 15～18 人が参加して作業しているとあるので、すごいパワーで活動していた様子が覗える。この時には烏帽子峰周辺だけであったが、その後蝶の森、天平自然園～絆橋～堤平も樹木札や案内看板が設置された。2006 年の作製時には、蝶の森にあるチョウの食樹の樹木札にチョウの種名も彫り込まれた。2006 年２月には使用樹種はサクラ、カエデ、ホオノキ、ケヤキと当時関わりのあった

大町の山林から伐りだしたヒノキ材、支柱は蝶の森の除伐材という記録が残っている。このように活動地で整備した材、いわゆる林産物活用が定着してきた。

最初は製材や道具などの問題もあり朝日村のクラフト体験館で作業を行っていたが、近年は自前の道具も徐々にそ

ろい、調査・きより館での作製・設置がより効率的にできるようになった。今年は５月８日に樹木札６枚と案内版１枚を作成し、５月 15 日の活動で設置することができた。

【樹木札の作り方】

① 樹木札設置場所を巡り、新設・付替えの樹木札をリストアップし、札に記入する文字を実物大で紙に描く。
② その文字を樹木札用に用意した板材にトレースする。板は間伐などで出た丸太をチェーンソーミルで板にしたサクラ、ホオノキ、ケヤキ、ハリギリ、カエデなどである。
③ トレースした文字をトリマーで彫るわけだが、これがなかなか難しい。始動時、停止時の刃の動きに注意しゆっくりと動かしていく。このとき出来たバリはサンダーで取り除く。なお、削りカスが散るので防塵用眼鏡・マスク着用が好ましい。
④ 彫った文字を黒色塗料で側面まで絵具筆などを使い丁寧に塗り、隅にたまった余分な塗料は取り除く。
⑤ 塗料が十分乾燥したら、文字からはみ出た塗料を取り除くため表面全体をサンダーで研磨する。
⑥ 削り粉を刷毛などできれいに取り除き、透明ニスを木札全体に塗る。文字部分にニスが溜まってしまうので乾燥前に取り除く。
⑦ 乾燥したらもう一度ニスを塗り、これが乾燥したら出来上がり

チェーンソーミル作業

トリマー作業

サンダー作業

【樹木札の杭の作り方】

・樹木札を取り付ける杭は径 5～15cm の間伐材（サクラ、コナラ、クリ、ニセアカシア）を使用する。
・長さを約 1.5ｍに切り、先端をチェーンソーやナタで尖らせる。
・杭は防腐処理として表面の焼きをするが、火事にならぬよう穴を掘り、消火用の水を用意してから焚火の火をつけ杭を差し込み、先端 50 ㎝ほどの表面を焼く。
・焚火に水をかけて消し、上を土で覆う。安全を確認して終了。

【樹木札の設置】

対象の樹木が分かる位置に杭をカケヤでしっかり打ち込む。杭は長めに作ってあり現地で調整する。

杭の上に樹木札を取り付けるが高さ及び取り付ける角度は遊歩道等の見やすい位置から決める。

杭の高さと取り付ける角度をチェーンソー又はノコギリで加工する。

樹木札を杭に水平にして2～3ヵ所をネジくぎで固定する。

尚、太い杭（案内看板用）は倒れにくくするために、杭の下部に横木を取り付けて地中に埋め固めてから名札を取り付ける。

樹木札の裏には該当番号を記入する。

【活動地域内の樹木札及び案内看板の位置図】

報告：百瀬ちゆき　天木登代　長嶋則文

5月の活動から

5 月 8 日（火）【絆の森活動】

9:30～14:00　活動場所：きより館　参加会員 6 人

曇り空であったが、きより館の外にテーブルを作って作業ができ、予定していた案内版 1 枚と樹木札 6 枚完成した。

天平自然園のレンゲツツジが見頃を迎え、ウスバシロチョウが飛び始め、ツツドリの鳴き声を何度も聞くことができた。

5 月 13 日（日）【森林整備活動】

9:30～12:00　活動場所：矢ノ沢内川さんの竹林　参加会員 7 人

昨年 11 月から始めた竹林の伐採と竹炭生産の最終回。当初予定の 3 月末終了ができずに気になっていたが、今回で片づけることができた。特に大月利さんがスタートを早め、8 時から火入れをしてくれたので 2 回の炭焼きですべてを処理することができた。

大月國さんと曾我さんは、塔ノ原城址入口から山頂方面への遊歩道上の倒木で、遊歩道に横たわって障害となっていた直径 20～30 ㎝の松枯れ倒木（2 カ所）の 1 カ所は 1 本、もう 1 カ所の 4～5 本を適宜玉切りしたものを道端に寄せて片付けた。

5 月 15 日（火）【蝶の森活動】

9:30～14:30　活動場所：蝶の森・天平自然園　参加会員 5 人

男性陣は蝶の森の樹木札の点検と設置、女性陣は草原のワラビ・カモガヤの抜取りを行った。ワラビの勢いが弱くなりかなり数も減った。毎年の抜取りの効果と思われ、草原の踏み荒らしも少なくなると期待される。その後全員で天平自然園に移り、遊歩道の倒木の片付けと樹木札杭の設置を行った。自然園のレンゲツツジは松が枯れて日当たりがよくなったためか近年になく花つきが良く、満開の花にカラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ、キアゲハ、ウスバシロチョウが集まる光景は見事の一言であった。

午後は土田さんが蝶の森及び長峰山山頂でチョウ類のルートセンサスを行った。

5 月 19 日（土）【森林整備活動】

9:00～15:00　活動場所：長峰山山頂草原下

参加会員 11 人

山頂草原に続く西側ではウワミズザクラの萌芽がとても多いが、保安林であるため、胸高直径 8 ㎝以下のものを伐採して、林内を明るくした。風通りが良くなり、気持ちが良い森になった。伐採木の一部は、薪材として活用する。

長年の放置で、株立ちとつるの絡みが多く、除去に苦労した。

あまり広くないところで、11 人の作業は、効率は良いが、伐採時の注意が大事だった。伐採した材と枝葉は、斜面下部に、棚積みした。

5 月 27 日（日）【絆の森活動】

9:30～15:00　活動場所：烏帽子峰、堤平、絆の森周辺　参加会員 6 人

気温があがり、1 週間といえず草丈が伸び、烏帽子峰入口と水平道、西側から山頂にかけての草刈りを宮本さんが担当。残りのメンバーは道具を西側頂上まで運び上げ、「烏帽子峰」「標高 920m」「カスミザクラ」の 3 枚の案内看板と樹木札の杭を新しくした。今回の案内看板の杭は大月利さんの発案で更に進化。2 本の杭を使い、持ちがいいように 50cm ほどの穴を掘り、塩ビのパイプを設置、そのパイプに杭を差し込み、すき間にはサクラ材の端切れを差し込み、その上から厚めの屋根用のフェルトで覆い落ち葉をかけて見えなくした。杭は先端を焼いても 2 年～3 年くらいしか保たないので、今回のこの方法でどのくらいの耐久性があるのか楽しみだ。

午後 1 時からの観察会は外部発信をしていないので、会員のみで行った。活動時に十分な時間を取って観察することがあまりないので、改めてこうした時間を持つのは大切なことだと実感した。

長峰山 NEWS

2000 年から里山保全活動を続けてきて、自分達の自然への取組みがどのような効果をもたらしているか、また里山の自然の四季の移ろいを見つめ直すため、今年から一般の方達にも声掛けをして「ミニ自然観察会」を行うことにしました。5 月～11 月までの第 4 日曜日午後 1 時から 1 時間くらいの予定で行います。集合場所は天平の森入口にある駐車場です。
長峰山に訪れて下さる皆様と、興味深い自然の営みを一緒に観察できればと思っています。是非お気軽にご参加ください。

自然観察会の写真

ニワトコの実

アヤメ

鹿に食べられたイタドリ

2018年6月・7月活動予定　※未定の活動については例会で相談して決めます。

月	日	行　　事	集　合　場　所	時　間	担　当
6月	1（金）	全国森林レクリエーション協会表彰式	松本駅	11:00～	永田千、長嶋
	2（土）	矢ノ沢山の神社大祓	山の神社	10:00～	宮本
	4（月）	明科中学校総合的学習の時間	長峰荘	14:00～	曾我
	5（火）	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～	宮本
	6（水）	長峰山草原草刈り打合せ	山頂駐車場	10:00～	松田、永田千
	10（日）	刈払い機安全講習、作業道草刈り	天平自然園	9:00～	中村
	13（水）	例会	三郷交流ｾﾝﾀｰゆりのき	19:00～	総務チーム
	17（日）	長峰山草原草刈り	山頂駐車場	9:00～	永田千
	19（火）	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～	土田
	20（水）	安曇野市都市計画課主催自然観察会	天平の森駐車場	未定	永田千、松田、土田
	24（日）	絆の森活動、ミニ自然観察会	天平の森駐車場	9:30～	百瀬ち
	27（水）	安曇野市「さとぷろ。学校」第2講	天平の森駐車場	9:00～	永田千、牛山
	28（木）	安曇野市「さとぷろ。学校」第3講	きより館	9:00～	永田千、牛山
7月	3（火）	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～	宮本
	8（日）	長峰山観察会	未定	未定	森芳
	10（火）	絆の森活動	天平の森駐車場	9:30～	百瀬ち
	11（水）	例会	松南地区公民館	19:00～	森林整備チーム
	15（日）	長峰山観察会予備日			
	17（火）	蝶の森活動	蝶の森駐車場	9:30～	土田
	22（日）	絆の森活動、ミニ自然観察会	天平の森駐車場	9:30～	百瀬ち
	25（水）	安曇野市「さとぷろ。学校」第4講	啼鳥山荘	9:00～	永田千、牛山
	29（日）	矢ノ沢地区夏の草刈り、暑気払い	きより館	未定	笠原、長嶋

会員を募集しています！

見学や入会の申し込みは、
随時受け付け中です。
お気軽にお問い合わせください。
一緒によい汗ながしませんか？

◇会費　正会員：3,000 円　賛助会員：4,000 円

■編集者
特定非営利活動法人
森倶楽部21　通信チーム
■発行人　理事長　永田　千恵子
■発行所　〒399-0033
長野県松本市笹賀 2497－3
■TEL&FAX　0263-58-0360
■メール　mori21@yumedia.jp
■URL　http://mori21.com/
■
https://www.facebook.com/morikurabu21